

予算決算常任委員会の審査

9月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案20件が予算決算常任委員会に付託され、各分科会に送付し審査を行いました。
 ※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。
 QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。



総務分科会

令和4年度越谷市一般会計補正予算(第5号)について

問 サンシティ整備事業のスケジュール変更による影響と今後の展望は。

答 スケジュール変更に伴う事業の実現可能性への影響は少ないと考えている。今年度は建設資材価格や施設の在り方の調査検討を行い、実施方針、要求水準書として取りまとめ、来年度以降、事業者の公募など整備に向けた取り組みを進めていきたい。

問 施設改修工事費の追加の内容と計画的に修繕を行っていく考えは。

答 今回の補正予算は、第二庁舎の空調設備の改修費用であるが、地方債の活用も含め対応している。今後については、各施設における個別施設計画の内容も踏まえながら、予算編成等に取り組んでいきたい。

令和3年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 市税の収納対策の現状や納税相談等窓口の対応は。

答 収納率向上に向け、現年分の収納対策の強化や滞納整理の徹底、自主納付を推進するため納付チャネルの拡大等に取り組んでいる。納税相談では、詳細な収支状況の聞き取りによる納付の計画や家計全体への助言等も行っている。

問 救命講習会の開催状況と市内公共施設等におけるAEDの設置状況は。また、救命講習会の受講人数の目標は。

答 令和3年は51回の救命講習会を開催し、914人が受講した。また、公共施設等におけるAEDは178台である。受講人数の目標は年間3300人としているが、コロナ禍で予定どおり開催できない状況が続いているため、今後はeラーニングの導入や三密の回避、資機材等の整備を通じて、

多くの方に受講していただきたい。

問 トイレトレーラーの購入理由と災害時以外の日常における運用は。

答 トイレトレーラーは災害時の健康被害や衛生環境の悪化などの被害を軽減するため導入した。平常時には、市の主催行事や各地区でのイベント、いちごタウンの来場者用トイレとしての活用を考えている。



トイレトレーラー

民生分科会

令和4年度越谷市一般会計補正予算(第5号)について

問 地区センター等での新電力事業者との契約およびLED化の状況は。

答 電力自由化に伴い、地区センター、市民会館および交流館のうち17ヶ所で新電力事業者と契約している。また、LEDの導入率は全体の10%程度である。LED化は電力抑制に有効な手段であるため、各施設の設備更新に合わせ、今後も進めていく。

令和3年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 看護師等修学資金貸付金の効果は。

答 当事業は看護師の養成所で学ぶ学生に対し、卒業後に市内医療機関で働くことを条件に、修学資金を貸与する制度である。事業発足以来、約7割にあたる122人が、市内医療機関に就職しているため、目的に沿った効果が出ていると認識している。

令和3年度越谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

問 「自宅でできる介護予防体操」に対する反応は。

答 自宅等でも介護予防体操ができるよう、動画DVD等を作成した。コロナ禍により集まって体操ができないときに、自宅で体操を行うきっかけとなったとの声や、通いの場等で活用しているとの話を伺っている。



介護予防体操の動画

令和3年度越谷市病院事業会計決算認定について

問 内部留保資金に対する考え方は。

答 内部留保資金は、施設再構築や、医療機械購入等に充てるため、補てん財源として使用されている。第六期中期経営計画の中の財政計画において、目標額を約10億円としているが、市立病院の建て替えを見据え、内部留保資金を増やしていきたい。

子ども・教育分科会

令和4年度越谷市一般会計補正予算(第5号)について

問 成人式会場設営委託料の補正内容は。また、今年度の開催の見通しは。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により大学を借用できなくなったことに伴う会場借上料の減額分と、大学に代わる会場の設営に係る増額分である。また、今年度から「二十歳のつどい」として開催予定であり、各地区において準備を進めている。

令和3年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 公立学童保育室の待機児童数は。また、補助金を交付している民間学童保育室数と今後増加させる考えは。

答 令和4年4月1日現在の待機児童数は215人であり、前年に比べ45人減少となった。また、令和3年度は2施設に補助金を交付した。増加が続く学童保育の需要に対し、公立学童保育室の整備のみでの対応は困難なため、補完的な役割を担う施設として、今後も民間への支援を進めていく。

問 科学技術体験センターの事業に対する反響および今後の事業内容の考え方は。

答 令和3年度はSDGs等の企画展を実施し、マスコミにも取り上げられ好評であった。今後も、各ライフステージに合わせた体験を通じて実感できる科学技術体験教育の充実に努めていく。

全体会において、以下のとおり討論がありました。

令和3年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について…反対討論1件

令和3年度越谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について…反対討論1件

令和3年度越谷市公共下水道事業会計利益処分及び決算認定について…反対討論1件

環境経済・建設分科会

令和4年度越谷市一般会計補正予算(第5号)について

問 め切橋の補修工事費用と、着工から開通までの期間は。

答 工事は債務負担行為により今年度から来年度に渡り行う予定であり、費用は計6000万円を予定している。来年の夏までには開通できるよう進めていきたい。

令和3年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 女性創業支援セミナーの内容とその成果は。

答 関係機関と連携し、起業の方法をはじめ集客や利益を上げる方法などの講義を行った。昨年度は創業セミナー全体の受講者の中から12件の創業実績があった。

問 今後の都市デザインに対する考え方は。

答 「都市計画マスタープラン」において、一定のエリアでの人口密度を維持しながら、各種施設の計画的な配置を誘導し、持続可能なコンパクトなまちづくりを推進していくことを定めている。今後も本市の特性に応じた都市づくりに取り組んでいきたい。